

|              |   |                         |           |           |       |
|--------------|---|-------------------------|-----------|-----------|-------|
| 学校教育目標       | 「元氣いっぱい 友だちいっぱい すすんで学ぼう 夢つくろう」<br>○主体的にねばり強く課題や問題を解決する力を育てます。(知)<br>○お互いを認め合い、豊かな人間関係を育てます。(徳)<br>○自他の生命や健康を大切にしようとする態度を育てます。(体)<br>○社会の一員として、お互いに支え合おうとする態度を育てます。(公)<br>○さまざまな人たちとのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。(開) |                         |           |           |       |
|              | 学校概要  | 創立 56 周年                | 学校長 高木 圭子 | 副校長 杉本 英嗣 | 2 学期制 |
| 児童生徒数: 414 人 |   | 主な関係校: 美しが丘東小学校 美しが丘中学校 |           |           |       |

|                             |                                |  |
|-----------------------------|--------------------------------|--|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力      | 美しが丘中<br>ブロック                  | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
| <問題発見・解決能力><br><自分づくりに関する力> | 美しが丘中学校<br>美しが丘東小学校<br>美しが丘小学校 | 夢を抱き ともによりよく生きようとする子ども<br>～自分で考え行動し、問題の解決を通してよりよい未来を切り拓こうとする子ども～<br>【小・中学校での「児童・生徒指導」と授業づくりの共通化】<br>・小中一貫推進担当者会議の定期開催・夏季合同研修会の開催と内容の充実<br>・各校間の授業見学・児童生徒指導・学習指導の共通理解と実践<br>・児童生徒間の活発な交流の推進<br>(横浜こども会議、ブロック保健委員会、合唱、部活動、清掃活動、授業交流等)<br>・地域への情報公開の推進・目指す子ども像を実現するための教育課程の編成 |

|        |  |
|--------|--|
| 中期取組目標 | ○教職員が一丸となって、子ども一人ひとりの個性を大事にしなが、「子どもが通いたい学校」「保護者が通わせたい学校」「職員が働きたい学校」づくりをしていきます。<br>・子どもが主体的に学習に取り組めるような授業づくりを推進し、表現力と問題解決能力の向上に努めます。<br>・一人ひとりが自分に自信をもち、他者との関わり楽しく生き生きと学校生活がおくれるようにします。<br>・自分の健康に関心をもち、一年間元気に過ごせるようにします。<br>・保護者・地域との連携をはかり、子どもたちがまちの人とのつながりを大事にし、まちで生きる子どもを育てます。<br>・キャリアステージに即した人事配置をし、風通しがよくチーム力を発揮できる職員集団をつくります。 |
|--------|--|

| 重点取組分野         | 具体的取組   |
|----------------|---|
| 知<br>問題発見・解決能力 | ①これまで生活科・総合的な学習の時間で培った課題解決の力をいかす活動を継続していく。②これまで培った課題解決の力を「算数科」の学習で生かしていくことができるようにしていく。何を解決したいのか、どのようにすれば解決できるのか見通しをもち、1単元・1時間の学習過程の中で主体的に学ぶ授業づくりをしていく。                  |
| 徳<br>道徳教育      | ①道徳教育の要となる「特別の教科 道徳」の授業を充実させることを通して、自己を深く見つめ、道徳的実践力を身につけられるようにする。②今年度は教科書が半分の学年が変わる。カリキュラムマネジメントを意識し、児童がわかりやすく考えやすい授業を作ることを大切にしていく。                                     |
| 体<br>健やかな体     | ①健康チャレンジタイムを今年度も設け、体づくり、ボール投げ、縄跳び、柔軟性を高める運動などを行う。運動することの楽しさを味わうとともに、継続して運動に取り組む習慣をつける。②健康で丈夫な心と体をもつ児童を育てるために小中連携しての学校保健委員会を組織し、健康意識を高める。                                |
| 公開<br>自分づくり教育  | ①たてわり活動や学校行事などの一つひとつの活動に対して、何のために行うのかを理解し、自分はどうに関わりたいのかを目的意識を持って活動できるようにする。②学習活動の中で、他者と関わることで、友達のよさや自分のよさに気づくことができるようにしていく。   |
| いじめへの対応        | ①朝の会や授業、人権週間の取組等を通して、いじめのない学校にしていくことを子どもたちに投げかけ、一人一人が相手の気持ちを尊重して生活するようにする。②年3回のアンケートとYPを行い、いじめの早期発見に努め、事案が発生したら担任、学年、専任、管理職で早急に共通理解し迅速に対応し、再発防止に努める。                    |
| 人材育成・組織運営(働き方) | ①学年・ブロックの連携を密にし、児童指導・授業改善・行事の運営等に取り組めるようにする。校務分掌では、各分掌で協力的、全校に関わる提案を多くの者が経験できるようにする。②5年次以下の教員やメンター長を中心にメンターチームを組織し、ベテラン教員が講師となって月一回の研修を行う。また研修だけではなく、校務分掌などの相談し合う場も設ける。 |
| 児童指導           | ①児童の実態を丁寧にとり、「学校のきまり」を実情にあった内容にしていき、全職員で共有して指導にあたる。②児童による委員会活動を中心に、よりよい学校づくりを意識して、ルールの徹底やふれあい活動を充実させていく。③ブロック研と職員会議で児童の状況を共有する時間をつくり、共通理解する。                            |
| 特別支援           | ①学年研・ブロック研等で積極的に情報交換を行い、一般級と個別支援学級の連携強化を図り、特別支援員を活用してサポートしていく。②特別支援教室の環境を整え、T.T、取り出し指導・教材の充実を図る。③個別支援計画、指導計画を丁寧に作成し、面談や密な連絡により、保護者との連携を高めていく。                           |
| 安全教育           | ①地震・火事・不審者に対する避難訓練をバランスよく取り組む。避難経路をわかりやすくし「自分の命は自分で守る」という意識づくりをして非常時にも子どもたちが対応できるようにする。②消防署や警察署と連携した防災訓練やサイバー防犯教室、交通安全教室を実施し、防災・防犯意識を高める。                               |
| 教科担任制          | ①全学年で一部教科担任制や交換授業を導入し、指導教諭の専門性を高め、各教科でのさらなる資質・能力の定着を図る。②複数の教員で児童をみとることで、よさや課題を共有しながら、学習、児童指導に生かしていく。全職員で全校児童を育てる組織経営を行う。  |